

1 PLAN(目的・概要)

政策名	国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者	港営部港湾管理事務所
施策名	産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成	成果	コスト		
事務事業名	臨港道路の維持管理			連絡先	052-398-0503
対象(誰・何を)	臨港道路			連携課	工事課、技術管理課、事業推進課、港湾工事事務所
目的	意図(どういふ状態にしたいか) 通行車両の安全かつ快適な走行を確保します。			事業期間	～継続
概要	臨港道路を定期的に巡視するとともに、損傷した箇所があれば速やかに応急措置を行います。また、道路の路面が劣化している箇所については、舗装補修を行います。			根拠法令等	港湾法
令和元年度の実施予定	臨港道路の巡視、応急措置、舗装補修を行います。			実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
				関連シート	

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	臨港道路の巡視、応急措置、舗装補修を行いました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	30,228	24,965	236,823	97,339	令和元年度より、事業費の考え方を見直したため事業費が増加しております。
人件費	千円	16,540	24,188	41,174	27,301	
合計	千円	46,768	49,153	277,997	124,639	

3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
損傷等に起因する事故件数(件) (単年度管理型)	目標	0	0	0		0	道路管理者の瑕疵による事故の件数。道路損傷等に起因する事故が生じないよう道路を管理する必要があります。	
	実績	0	1	0				
	事業進捗状況(元年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る					
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	目標	-	-	-	-			
	実績	-	-	-	-			
	事業進捗状況(元年度)							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性 本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？ 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？	○	陸上輸送では臨港道路を100%利用します。臨港道路の管理は本組合に課せられた責務であり利用者の安全を確保する必要があります。また、物流活動において臨港道路を良好に保つことは重要であり利用者ニーズに適しています。						
	○							
有効性 事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？ 期待どおりの成果が得られているか？	○	臨港道路の良好な状態は港湾の物流機能の維持に貢献しています。道路管理瑕疵に起因する事故件数は本年度0件であり、成果が得られています。						
	○							
効率性 最小のコストとなっているか？	○	臨港道路の巡視により損傷箇所を早期に発見し、応急的補修等を必要最低限のコストで実施し、効率よく良好な状態の臨港道路を保っています。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	良好な臨港道路を保つには現在の事業規模を確保する必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題		2年度以降の取組	
臨港道路を良好に維持することにより通行車両の安全かつ快適な走行を確保していくことが課題です。		引き続き定期的に巡視を行い、損傷箇所の補修を速やかに行うなど事故防止に努めていきます。	